

重要 UEFI 要件

HPE ProLiant MicroServer Gen10 サーバーには UEFI システム BIOS が搭載されています。これらのサーバーは、UEFI クラス 2 を実装しており、UEFI モード（デフォルト）とレガシー BIOS モードの両方をサポートしています。ブートモードは、Aptio Setup Utility 経由で構成されます。

サーバーが UEFI モード用に構成されている場合は、次の要件に従ってください。

- サポートされるサーバーオプションのリストにある Smart アレイコントローラーのみを使用してください。他の Smart アレイコントローラーはサポートされておらず、正しく機能しません。Smart アレイコントローラーをサーバーで使用する前に、ファームウェアを最新バージョンに更新することをお勧めします。オペレーティングシステムをインストールする前に、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<http://www.hpe.com/support/hpesc>) から使用可能な最新のファームウェアバージョンをダウンロードし、インストールしてください。

サポートされるオプションについて詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトにあるサーバーの QuickSpecs を参照してください (<http://www.hpe.com/info/qs>)。

ファームウェアとドライバーの最新バージョンについて詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<http://www.hpe.com/support/hpesc>) を参照してください。

❗ 重要:

最新のファームウェアを使用して更新された、サポート対象の HPE Smart アレイコントローラーのみをインストールします。正しいファームウェアを使用しなかった場合、サポートされるコントローラーはシステム構成内で不明なデバイスとして表示されます。

- サポートされるサーバーオプションのリストにあるネットワーキングデバイスのみを使用する必要があります。サポートされていないネットワークデバイスは、正しく機能しない場合があります。ネットワーキングデバイスをサーバーで使用する前に、ファームウェアを最新バージョンに更新することをお勧めします。オペレーティングシステムをインストールする前に、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<http://www.hpe.com/support/hpesc>) から使用可能な最新のファームウェアバージョンをダウンロードし、インストールしてください。

❗ 重要:

デフォルトのブートモード設定とユーザーが構成した設定が異なる場合は、デフォルト設定に復元すると、システムが OS インストールを起動しなくなる可能性があります。この問題を回避するには、Aptio Setup Utility を使用して出荷時のデフォルト設定を上書きします。

- Aptio Setup Utility を起動するには、システムの起動プロセス中にメッセージが表示されたら、**F2** または **Del** キーを押します。
- ユーティリティで設定を構成します。
- 保存して終了 > Default Options** を選択して、次のいずれかを実行します。
 - 現在の構成をユーザーデフォルトとして保存するには、**Save as User Defaults** を選択します。
 - 現在の構成をユーザーデフォルトとして上書きするには、**Restore User Defaults** を選択します。

- サーバーが UEFI モード用に構成されている場合、PXE サーバーは UEFI ブートイメージで構成される必要があります。また、x64 EFI マシンの場合、x64 EFI DHCP のブート要求をサポートするように DHCP サーバーも構成する必要があります。
- サーバーが UEFI モードで起動した場合、従来の OS インストールでのメディアを起動しません。これには、DOS のターゲットとレガシー BIOS モードでインストールされている Windows または Linux のシステムが含まれます。その逆も同様で、レガシー BIOS モードで起動するサーバーにも当てはまります。

- セキュアブートでは、適切なデジタル署名があり、本物であることが確認されているファームウェアコンポーネント、UEFI アプリケーション、およびオペレーティングシステムのブートローダーのみをブート処理中に実行できます。ブートプロセス中に起動した各コンポーネントにデジタル署名が付けられ、この署名が UEFI BIOS に内蔵された信頼済み証明書と照合されて検証されます。セキュアブートを機能させる場合、Trusted Platform Module などの特別なハードウェアは不要です。セキュアブートは UEFI モードでのみ有効にできます。
- サーバーが UEFI モードで構成されている場合に Windows 7 x64 をインストールするには、以下の操作を行います。
 1. Aptio Setup Utility を起動するには、システムの起動プロセス中にメッセージが表示されたら、**F2** または **Del** キーを押します。
 2. **Advanced** > **ブートオプション** から、**Enable UEFI with CSM module** を選択します。

セキュアブート、およびブートモードを UEFI モードとレガシー BIOS モードの間で変更する方法については、*HPE ProLiant MicroServer Gen10 ユーザーガイド* (<http://www.hpe.com/support/microservergen10-ug-ja>) を参照してください。

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。